

寺尾第二地区 社会福祉協議会だより

No.46

発行2022年7月 寺尾第二地区社会福祉協議会 会長 宮野 昌夫

7月3日(日)、3年ぶりに“社会を明るくする運動”が寺尾第二地区連合会の主催で開催されました。連日猛暑が続いていた時期でしたが、幸い当日は薄曇りとなり、久々の地域行事ということもあり、多くの方々で遊水地がにぎわいました。

寺尾第二地区社協も、毎回この活動に賛同し、参加しています。今回は、地域から提供していただいた手作り品や民生委員が作った布草履、アクセサリなどを販売いたしました。



販売担当の民生委員



「お母さんへのプレゼントにする」と、購入してくださったお子さんの姿もありました❤️



おかげさまで、売上金額は

52,840円でした

ご協力ありがとうございました 地域福祉の充実に使わせていただきます

令和4年度 理事会・総会

本年度の理事会・総会は、未だ新型コロナウイルス感染拡大を懸念する中、昨年同様参集せず、書面での総会といたしました。令和3年度事業報告、決算報告、令和4年度事業計画案、予算案が書面表決書で理事全員の賛成をもって承認されました。

令和4年度も感染予防に万全の対策を取り、皆さまの安全を第一に考え、行事・事業に取り組んでまいります。

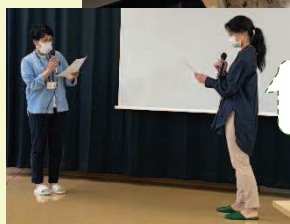
皆様のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

障がい理解のための講座

7月13日（水）馬場地域ケアプラザで、精神障がいの理解講座～入門編～が開催されました。鶴見区精神障害者生活支援センターの坂井優仁さん、村上李奈さんを講師にお招きして、講演をしていただきました。生活支援センターの紹介や精神疾患・精神障がいについての説明を受けました。精神疾患の総患者数はここ何年も増加傾向にあり、それは、精神科を受診しやすくなっていることも要因になっていることがわかりました。

精神疾患の症例としては、統合失調症であった画家ムンクの絵画の変遷を通して、病状の進行具合を目に見える形で教えていただきました。

その後、具体的な事例やかかわり方のコツなどを、寸劇や参加者への質問を通して学びました。



真にせまる寸劇

熱心に受講

精神疾患と精神障がいの違い・・・

精神疾患は、気分のおちこみや幻覚・妄想など心身の様々な影響がでる病気のことです。精神障がいは、その病気があることで生じてくる生活のしづらさなどのことを言います。それらは、誰もなる可能性があり、目には見えにくいいため、理解されにくいのです。

多くの関係機関の方々も参加



多世代交流会 学んでご飯に

鶴見区長さんがやってきた！



休止していた「学んでご飯」を6月から再開しました。東高校の生徒さんは23名、小学生は5名の参加がありました。そこに鶴見区の渋谷区長が見学に来られました。



高校生は、こどもたちと勉強してくれるグループと、行事の装飾を作るグループに分かれて、それぞれ熱心に取り組んでくれました。

お楽しみのご飯は、1年ぶりに地域のヘルスメイトさんが作ってくださった牛丼とスープでした。みんなで美味しくいただきました。

その後、区社協、区役所からいただいたお土産をかけて、区長とのジャンケン大会で盛り上がりました。

帰りは、地域の方々に送っていただきました。



区長とジャンケン大会



なお、この取り組みについては、“横浜市長と語ろう”で取り上げられ、8月23日には、市長を迎えての座談会が予定されています



接し方のポイント

- ① 周囲が病気への正しい知識をもつ
- ② ご本人のつらい状態を理解する
- ③ お薬のサポートを継続する
- ④ 治療を継続できるように支える
- ⑤ あせらず、ゆっくり見守る
- ⑥ 「本人のやりたいこと」をサポートする

もしも身近なひとが・・・

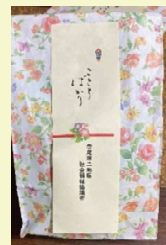
- ① 本人の気持ちや言葉を聴く
- ② 早期発見、早期治療
- ③ 本人と病気を分けて考える
- ④ 生活のしづらさを理解する
- ⑤ 家族内で悩みを抱え込まず、専門機関に相談しましょう



対応の仕方について考えてみよう



質疑応答にも熱が入って



お帰りの際は心ばかりのお土産も

精神障がいの方についてのご相談は、鶴見区精神障害者生活支援センターまでご相談ください

☎ 045-576-3173

平日：10:00～12:00/14:00～19:00

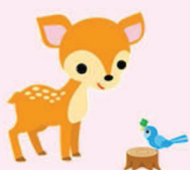
土曜：9:00～16:00 休館日：日曜日

次回 応用編では、窓口の紹介、サポートやサービスの説明などの講座を予定しています

寺尾第二地区社会福祉協議会の「障がい理解のための講座」の取り組みが、横浜市社会福祉協議会の市民活動・ボランティア活動情報誌「福祉よこはま」203号に取り上げられました。

今後とも地域にお住まいのすべての方々が自分らしく暮らせる地域を目指して、活動を続けてまいります。皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

バンビに 中学生がやってきた！



場 所 馬場地域ケアプラザ2F
多目的ホール
日 時 毎月第3火曜日
10:00～11:00
対 象 未就園のお子さんと子育て中の方



小麦粉粘土
粘土作りから始めました



お兄ちゃん、これなーに？



七夕飾りを一緒に
作ろう！

今年度は、5、6、10、11、12月のバンビに上の宮中学校の生徒さんが、家庭科の学習の一環として参加しています。毎回、学習の目標を決め、小さいお子さんたちとのふれあい方をいかにするべきか真剣に向き合っている姿は、応援したくなります。10月は絵本の読み聞かせに挑戦してもらう予定です。

福祉保健講座第一講

お楽しみ福祉大会

中止になっても繋がりは止めない!

7月7日(木)に予定されていた福祉保健講座第一講「お楽しみ福祉大会」は、諸般の事情により、急遽中止とさせていただきます。講演をお願いしていた市川鶴見区福祉保健センター長、七夕コンサートに出演予定の陶旭^{トウシュウ}茹さん、また会場の装飾を作ってくくださった東高校の生徒さん、その他ご協力いただきました方々にお詫びいたしますとともに御礼申し上げます。

当日ご用意しましたお弁当は、各自治会・町内会の会長が中心となって、参加予定の皆様にお届けいたしました。(一部お届けできなかった地域もございます。ご了承くださいませ。)

また来年の七夕にお会いできることを楽しみにしております。

賛助会員 募集中

鶴見区・寺尾第二地区社会福祉協議会の活動にご賛同下さる方に賛助会員になっていただき、一口1,000円の会費をご協力いただいています。

寺尾第二地区での令和3年度実績は296,000円でした。その中の55%が寺尾第二地区社協へ還元され残りの45%が鶴見区社協の事業費として使われます。会員の皆さまからお預かりした会費は重要な財源となります。地域福祉のために、大切に活用させていただきます。

皆様のご協力をよろしくお願い致します

第4期(令和3年~7年度)鶴見・あいなと(地域福祉保健計画)

寺尾第二地区テーマ:「世代を超えて未来につなごう 地域の輪」

具体的な目標:“あいさつとおもいやりの心を缶バッチで広げよう”

目標の実現に向けて、第4期では、缶バッチのデザインを1種類に統一し周知に努めることになりました。

出来上がりをお楽しみに!

予告

福祉保健講座第二講

老いも若きも健康づくり

日時 10月29日(土) 10:00~11:45

場所 寺尾地区センター 体育室

I部 健康づくり講座

II部 フラダンス フラ レイマカマエのみなさん

みんなで踊ろう

詳しくは、ポスターでお知らせします

